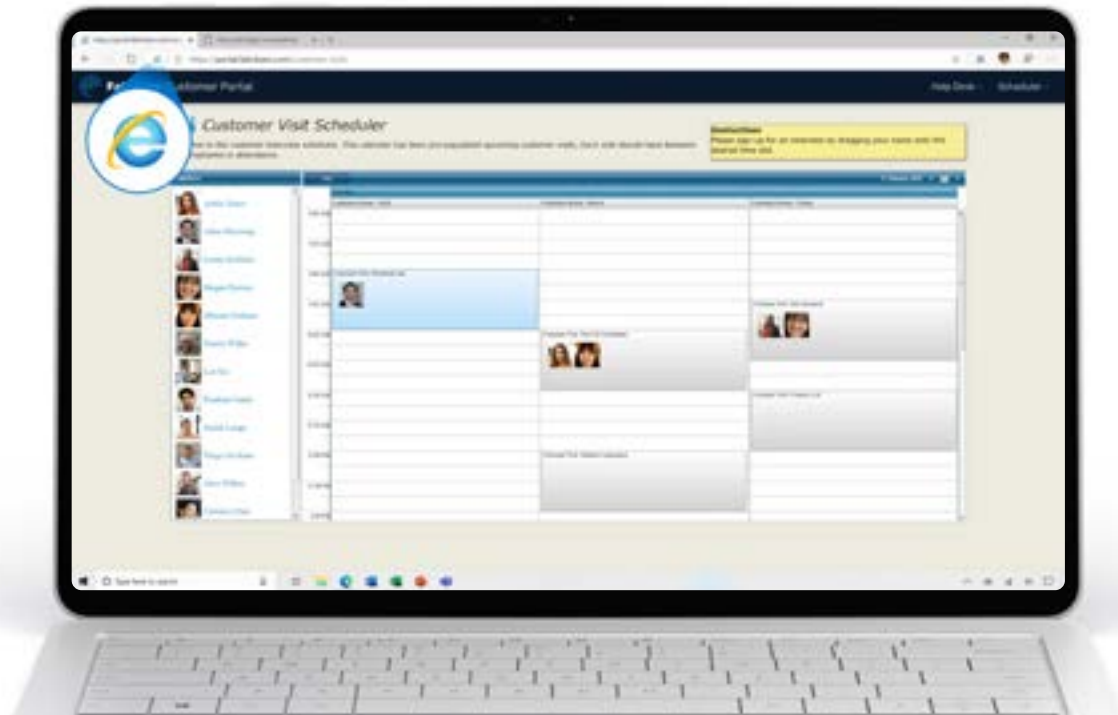




Microsoft Edge + Internet Explorer モード Getting Started ガイド



目次



Internet Explorerの後継はMicrosoft Edgeです	3
移行とタイムライン	4
展開に向けての計画	5
Internet Explorerモード	6
展開とアップデート	8
設定	9
リソース	10
付録	
チャンネルの概要	12
Microsoftの展開方法ビデオについて	13



Internet Explorer から Microsoft Edgeへ



Microsoft EdgeのInternet Explorerモードは、従来のブラウザーサポートを組み込み、2022年6月15日に提供終了となるInternet Explorer 11デスクトップアプリケーションの後継となります。

より包括的なMicrosoft Edgeへ移行することにより、皆様の組織において以下のメリットがあります。

互換性の向上

デュアルエンジンの優位性を得る事が出来ます。Chromiumプロジェクトは、最新のウェブサイトに対して、世界最高水準での互換性を提供し、Internet Explorerモードは、従来のInternet Explorerベースのウェブサイトとアプリの互換性を提供します。

生産性の向上

複数のブラウザ間を行き来することなく、仕事上の重要なサイトと外部サイトの両方を単一のブラウザで統一できます。

価値の保持

Internet Explorerモードでは、Internet Explorerが提供終了後もIEベースのサイトやアプリを引き続きご利用いただけます。平均して、各組織では1,678のレガシーサイトを持っており、一つのアプリを改訂するには\$335kがかかります¹。

セキュリティ強化

Microsoft Edgeは、組織を保護する為にInternet Explorer より頻繁にセキュリティおよび機能のアップデートを行い、[Windows 10版 Chrome for businesses](#) より安全性が高くなっています。



発表ビデオをみる

今回の変更は、Windows 10 LTSCやサーバー 版の Internet Explorer 11 デスクトップアプリには影響しません。MSHTML (トライデント)エンジンも影響しません。今回の発表の対象となるプラットフォームのリスト、およびその他の技術的なご質問については [FAQ](#) をご参考ください。

Microsoft EdgeにはInternet Explorerモードを仕様した従来のブラウザーサポートが組み込まれています。Internet Explorer モードはWindowsクライアント、サーバー、およびIoTリリースのライフサイクルに従います。詳細については[ライフサイクル ページ](#)をご参照下さい。

発表ブログは[こちら](#)をご参照ください。

¹ Forrester Consulting社がMicrosoftに代わって2021年2月に実施した40人のエンタープライズ意思決定者に対する委託調査に基づく実際のコストは複雑さ場所、その他の要因によって異なる場合があります。Microsoftの依頼に基づくForrester Consulting社が実施したMicrosoft Edgeの Total Economic Impact™ (2021年4月)

移行とタイムライン



移行計画の策定

フェーズ1: 計画

- 移行計画とスケジュールの策定
- エグゼクティブや意思決定者へのEmailテンプレート1を利用し、計画の共有と合意を取得する

フェーズ 2: 設定と試行

- エグゼクティブへのEmailテンプレート2 を利用して、IEモード試行の協力を得る
- Microsoft Edgeを展開し、Internet Explorer モードを設定する

フェーズ3: エンドユーザーを移行

- エンドユーザーへのEmailテンプレート1を利用し、組織全体での移行を告知
- エグゼクティブへのEmailテンプレート3を利用し、エグゼクティブから全組織宛メールを送信してもらう
- [IEからMicrosoft Edgeへのダイレクトポリシー](#) を設定し、エンドユーザーの移行を支援する
- エンドユーザーへのEmailテンプレート2を利用し、間近に迫った移行について再通知する
- [IE 11 無効化ポリシー](#) を設定し、組織内提供終了日以降はIEアプリをブロックする
- エンドユーザーへのEmailテンプレート3を利用し、ヒントや秘訣を共有する

IE 移行キット

[Internet Explorer 移行キット](#)には、組織をInternet Explorerから、IEモードが組み込まれているMicrosoft Edgeに移行するのに役立つ資料が用意されています。

概要

- 本キットの資料の使い方 - 概要ガイド

関係者への連絡資料

- エグゼクティブへのEmailテンプレート1 - エグゼクティブへの通知
- エグゼクティブへのEmailテンプレート2 - 関係者への通知
- エグゼクティブへのEmailテンプレート3 - エグゼクティブから組織への通知

エンドユーザーの移行に関する連絡資料

- エンドユーザーへのEmailテンプレート1 - Microsoft Edgeへの移行を告知
- エンドユーザーへのEmailテンプレート2 - Microsoft Edgeへの移行準備
- エンドユーザーへのEmailテンプレート3 - Microsoft Edgeへの移行後

追加資料

- Microsoft Edgeへの移行に関するユーザー向けフライヤー
- Microsoftブラウザ利用レポートの通知フライヤー
- 動作しないウェブサイトについてITに連絡する方法に関するフライヤー
- 動作しないサイトの連絡フォーム - Microsoft 365 フォーム
- Microsoft Edge Total Economic Impact調査結果

重要なスケジュール

Internet Explorer 11 デスクトップアプリの提供終了を発表

2021/5/19
(日本時間5/20)

Microsoft 365 アプリやサービスでのInternet Explorer 11 サポート終了

2021/8/17
(日本時間8/18)

Internet Explorer 11 デスクトップアプリの提供終了

2022/6/15
(日本時間2022/6/16)

移行キットのダウンロードは [こちらのリンク](#) から

展開計画



Microsoft Edgeの最初の広範な展開の前に、次の重要な手順をご検討ください:

Microsoft Edgeを初めて設定する際にガイド付きのエクスペリエンスをご希望の場合には、Microsoft 365管理センターに新たに用意されている、[Edge Advisor](#) から進めて頂くことをおすすめします。

注: Microsoft Edgeレガシーサポートは 2021年3月9日に終了しました。Microsoft Edge レガシーは削除され、Windowsのアップデートを通じてMicrosoft Edge に置き換えられます。詳細については[発表ブログ](#)をご参考ください。

手順 1 既存のブラウザ環境とブラウザの必要性を評価する

現在のブラウザ状況と必要な前提条件を精査してください。すべてのプロジェクト関係者が同じ展開結果に向けて作業するための目標を設定する。

手順 2 展開方法の決定

目指すべき最終状態が定義出来たら、エンドユーザーにMicrosoft Edgeを導入する方法を、役割別またはサイト別に選択します。

注: お使いのデバイスに既にMicrosoft Edgeが搭載されている場合があります。その場合は、Microsoft Edgeの設定とInternet Explorerモードの設定に焦点を当てます。

手順 3 エンタープライズサイト一覧のためのサイトディスカバリーの実行または既存リストの更新

レガシー Web アプリケーションに依存し、Internet Explorer モードの使用を計画している場合 (ほとんどのお客様がそうしています) は、追加のサイト検出が必要です。Microsoft 365 Admin センターの IE モード設定アシスタントを使用して、新しいリストの作成、既存のリストの更新、およびニュートラルサイトの設定を行うことができます。詳細については 6 ページを参照してください。

手順 4 チャンネル戦略の選択

複数のデバイスとチャネルを含む展開戦略を検討します。これにより、新機能をプレビュービルドでテストする能力を維持しながら、ビジネスに広範で安定した機能を提供することができます。

手順 5 ポリシーの定義と設定

レガシーWebアプリケーション用のEnterprise サイト一覧を作成した後、導入するポリシーの特定と構成を開始します。これにより、テスト開始時にこれらのポリシーが適用されるようになります。

手順 6 アプリの互換性テストの実施

多くの組織では、コンプライアンスやリスク管理の観点から、アプリケーションの互換性を確認するためのテストを実施する必要があります。

ラボテスト: 厳密に管理された環境で、特定の構成でアプリケーションを検証。

パイロットテスト: 限られた数のユーザーが自分のデバイスを使って、日常業務の中でアプリケーションを検証。

手順 7 Microsoft Edgeをパイロットグループへ展開

ポリシーを定義して初期アプリの互換性をテストした後、パイロットグループに展開する準備が整います。

手順 8 展開の検証

パイロット版を導入した後は、互換性、ポリシー設定、使いやすさ、新機能などに関するすべてのフィードバックを収集します。

手順 9 変革管理計画の策定とMicrosoft Edgeの広範な導入

試験運用から得られた教訓に基づいて導入計画を更新すると、すべてのユーザーにMicrosoft Edgeを本格的に導入する準備が整います。Microsoft Edgeを最大限に活用するために、ユーザーの変革管理計画(チェンジ マネジメント)を検討してください。

手順 10 継続的な管理

Microsoft Edgeは時間の経過とともに定期的にアップデートされるため、これらの手順を定期的に評価し、皆様の環境の変化に対応する必要があります。そのためにはMicrosoft Edgeのベータ版を導入する前に、代表的なサブセットのユーザーでテストビルドを行うことをお勧めします。

より詳細な情報は、[展開の計画に関するガイド](#)をご参考ください。

Internet Explorer モード



Microsoft Edgeには、レガシーブラウザのサポートが組み込まれています。Internet Explorer (IE) モードと、Enterprise モードのサイト 一覧にサイトを追加して組織に設定する方法については [こちら](#)をご覧ください。

IEモードとは何ですか？

Microsoft Edge の IE モードを使用すると、組織が必要とするサイトを 1 つのブラウザで簡単に使用できます。

Microsoft Edgeは、最新のサイトをレンダリングするために統合された Chromiumエンジンを使用し、IE モードでレガシーサイトをレンダリングするためにトライデント (MSHTML) エンジンを使用します。

IE モードでサイトが読み込まれると、IE ログインジケータがナビゲーション バーの左側に表示されます。IE ログをクリックすると、追加情報が表示されます。

サポートされている機能

IE モードでは 次のInternet Explorer機能がサポートされています：

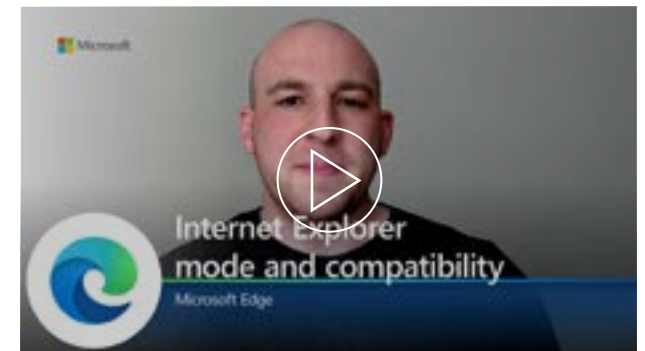
すべてのドキュメントモードとEnterprise モード、ActiveX コントロール (Javaや Silverlightなど)、ブラウザ ヘルパー オブジェクト、インターネット セキュリティ ゾーンの設定と保護モードに影響を与えるExplorer 設定とグループポリシー、IE 用の F12 開発者ツール (IEChooser で起動した場合) および Microsoft Edge 拡張機能 (IE ページコンテンツと直接対話機能する拡張機能は設定されません)。

IE モードでは、次のInternet Explorer機能はサポートされません：

Internet Explorer のツール バー、Internet Explorer の設定、およびナビゲーション メニュー (検索エンジンやホーム ページなど) に影響を与えるグループ ポリシー、IE11または Microsoft Edge F12 開発者ツール。

macOSではIEモードはサポートされていません

詳細



IE モードと互換性の詳細についてはこのビデオをご覧ください。

Microsoft Edge がInternet Explorerモードであなたのモダン ブラウザー ニーズとレガシー ブラウザー ニーズの両方をサポートする方法についての説明になります。

[こちらのページ](#)では、IEモードのOS/バージョンの前提条件や、IEモードについての詳細をご覧ください。

Internet Explorer モード



Enterprise Mode サイト 一覧にサイトを追加して、組織の Internet Explorer (IE) モードを設定する方法について説明します

準備

Internet Explorerを使っているユーザーはいますか？

Yes → Microsoft Edgeに移動ください。次へ

No → Internet Explorerの終了に向けて、すでに準備済みですね。

ユーザーの端末にMicrosoft Edgeがインストールされていますか？

Yes → 素晴らしい！Microsoft Edgeがインストールされ、IEモードを設定する準備ができています

No → [Edge Advisor](#) を使用するか、以降のページのガイダンスに従ってMicrosoft Edgeをインストールしてください。

Explorerを必要とする古いウェブサイトやアプリケーションがありますか？

Yes → ユーザーがMicrosoft Edgeでこれらのサイトにアクセスできるように、IEモードを設定する必要があります。

No → IEモードを設定する必要はありません。

Internet ExplorerやMicrosoft Edge LegacyのEnterprise モード サイト一覧をすでに持っていますか？

Yes → 既存のEnterprise Mode サイト一覧を更新してニュートラルサイトを追加することができます。“Set up”のステップ1を参照してください。

No → IEモード設定アシスタントを使用して、Enterprise Mode サイト一覧をセットアップします。

設定

IEモードを使用できるのは、(ポリシーを介して) 具体的に構成したサイトのみです。他のすべてのサイトは最新のWebサイトとしてレンダリングされます。サイトをIE モードで開くには、以下の手順を参照してください。

手順1: Enterprise Mode サイト一覧を作成するか、既存のサイト一覧を更新します。

Microsoft Edge は、Enterprise Mode サイト一覧を使用して、IEモードでサイトを開きます。

Enterprise Mode サイト一覧を作成し、ニュートラルサイトを設定するには[こちらを参照](#)するか、[IEモードの構成](#)ツールを使用してください。

既存のEnterprise Mode サイト一覧を更新し、ニュートラルサイトを設定するには、[こちらを参照](#)するか、[IEモードの構成](#)を使用してください。

ステップ2: IEモードの設定

グループポリシーを使用して IEモードを設定します。Enterprise Mode サイト一覧からIEモードのサイトをMicrosoft Edgeで開くには、Internet ExplorerまたはMicrosoft Edgeのポリシーを設定する必要があります。

これらのグループポリシーの設定方法については、[このページ](#)を参照してください。

・ポリシーですべてのイントラネットサイトをIEモードで開くように設定することもできますが、Enterprise Mode サイト一覧を使用するのが望ましい方法です。

・また Internet Explorerブラウザで開いたサイトをMicrosoft Edgeで開くようにリダイレクトするポリシーを有効にすることをお勧めします。このポリシーの詳細については、[IEモードポリシーの構成](#)ページを参照してください。

参考ビデオ



IEモードを含む Microsoft Edgeの設定に関するビデオをご参考ください。

Microsoft Edge は、ビジネスに最適なブラウザとして設計されており、組み込みの従来のブラウザのサポートが含まれています。ホストの Jeremy Chapman は、Enterprise Mode サイト一覧スキーマ v.2 を使用してEnterprise Mode サイト一覧を作成し、IEモードのグループポリシーを使用して構成する方法を示します。Microsoft Edge のセキュリティ管理に関する推奨事項については、ビデオの残りの部分を参照してください。

[こちらのページ](#)では、IEモードのOS/バージョンの前提条件や、IEモードについての詳細をご覧ください。

展開とアップデート



展開計画の手順を完了後、Windows と macOS の両方で Microsoft Edge を展開およびアップデートするための複数のオプションがあります。

Windows 10

Option 1: Configuration Manager を展開する。

注:既に Microsoft Edge を展開している場合はこの手順を省略できます。

Step1

Microsoft Edge 管理という新しいソードを使用して、コンソールで展開を作成します。ここでは、新しいアプリケーションを作成し、アプリのコンテンツの名前、説明、および場所を指定できます。展開するチャネルとバージョンを選択し、展開の成功を完了してテストします。

Step2

展開すると、ブラウザーの更新プログラムが使用可能になり、Configuration Manager が表示されます。

Step3

展開の詳細な手順については [こちら](#) をご参照下さい。

Option 2: マイクロソフトの Intune を介して展開する

Step1

Windows 10 RS2 以上がインストールされていることを確認します。

Step2

マイクロソフトの Intune でアプリを構成します。

Step3

アプリ情報とアプリ設定を構成し、スコープ タグ を選択します (オプション)。

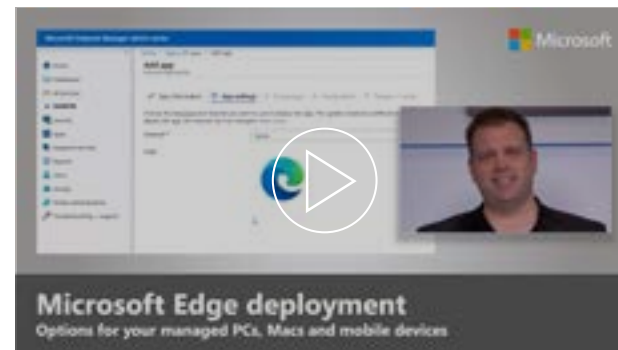
Step4

アプリを追加し、トラブルシューティングを実行します。

Step5

展開の詳細な手順については [こちら](#) をご参照下さい。

Video を観る



Microsoft Edge をデバイスに展開する方法に関するビデオをご参照ください。

MECM (Microsoft Endpoint Configuration Manager) を使用して Windows PC に Microsoft Edge 展開方法を自動導入する Microsoft Edge パッケージオプションについて説明します。

お使いの携帯電話や Mac を含むすべての管理対象デバイスが Microsoft Edge でプロビジョニングされていることを確認する手順についても御確認頂けます。

macOS

macOS にデプロイするには、JamF による展開の詳細な手順について [こちら](#) をご参考ください。Microsoft Intune による展開の詳細な手順は [こちら](#) を参照してください。

設定



Microsoft Edgeは、Windows と macOS の両方で設定することができます。

Windows 10

Option 1: デフォルトの設定

Step 1

Microsoft Edge管理用テンプレートをダウンロードしてインストールする。

Step 2

テンプレートを Azure Active Directoryと個々のコンピューターに追加します。

Step 3

Active Directoryと個々のコンピューターの両方について、グループポリシー エディターで必須ポリシーと推奨ポリシーを設定します。

Step 4

構成の詳細な手順は[こちら](#)をご参照ください。

Option 2: マイクロソフトの Intune構成

Step 1

管理用テンプレートを使って設定を管理するためのプロファイルを作成します。

Step 2

設定方法の詳細は[こちら](#)をご参照ください。

Option 3: モバイルデバイス管理での設定

[ADMX Ingestion](#)をサポートするお好みのEnterprise Mobility Management (EMM)またはMDMプロバイダーを使って、MDMを使用してWindows 10上のMicrosoft Edgeを設定することができます。

Step 1

Microsoft Edge ADMXファイルをEMMまたはMDM プロバイダーに挿入します。ADMXファイルを取り込む方法については、お使いのプロバイダーを参照してください。

Step 2

Microsoft Edgeポリシー用のOMA-URIを作成します。

Step 3

構成の詳細な手順は[こちら](#)をご参照ください。

Windows (ドメインに参加しているデバイスまたはAzure Active Directoryに参加しているデバイス) およびmacOSでも、Microsoft Edgeをデフォルトのブラウザーとして設定できます。

設定の詳細な手順は[こちら](#)をご覧ください。

ファイル、サイトおよびユーザーなどの作業結果を Microsoft Edge から検索 (Bing Microsoft) します。

組織でのMicrosoft Searchの設定方法については、[こちら](#)をご覧ください。か、[Microsoft Mechanicsのビデオ](#)をご覧ください。

macOS

macOS用に展開する場合、詳細な手順は[こちら](#)をご覧ください。



サポート

Microsoft EdgeまたはIEモードの展開または構成支援をお探ですか? [FastTrack](#)にお問合せください。

FastTrack は、Windows 10を150シート以上ご購入頂いているお客様に追加料金なしでご利用いただけるサービスです。開始するには⇒[FastTrackサイト](#)からお問合せください。

ヘルプが必要な場合や互換性に関する質問がありますか? [App Assure](#)にお問合せください。

Internet Explorer からMicrosoft Edge移行時に互換性の問題が発生した場合、App Assureプログラムをご利用頂けます。App Assureは、お客様のウェブアプリやサイトがInternet Explorer 11、サポートされているバージョンのGoogle Chrome、もしくはMicrosoft Edge (Microsoft Edge レガシーを含む)で動作する場合には、これらの Web アプリやサイトは、Microsoft Edge で動作することを約束します。問題が発生した場合には、追加料金なしで[サポートを依頼](#)するか、修復サポートを受けるためにメール (ACHELP@microsoft.com) にてお問合せください。この[ブログ](#)をご覧ください、App AssureとMicrosoft Edgeの詳細を参照してください。

サポートを受けるその他の方法

他のサポートサービスからヘルプを受けるには—プレミア、ユニファイド、または[Microsoft Services Hub](#)に[サインイン](#)してお問合せください。

技術文書については、[Microsoft Edge Docs site](#)をご参考ください。

ポリシー

Microsoft Edgeには、組織のMicrosoft Edge の実行方法を調整するために活用頂ける 250 以上のポリシーのライブラリーがあります。

コンテンツ設定、拡張機能、HTTP認証、パスワード管理/保護、ブラウザ更新、ネイティブ メッセージングなど 幅広い機能が網羅されています。

- 使用可能なブラウザ ポリシーの表示[こちら](#)
- 利用可能な更新ポリシーの表示は[こちら](#)

Microsoft セキュリティー

- Microsoft Edge は、オフィス内でもリモートでも 組織のユーザーとデータを保護するために、包括的なセキュリティアプローチを提供します。Microsoft Edge のセキュリティ機能の詳細については以下を参照してください。
- [Windows Information Protection](#) (Windows 10)
- [Microsoft Defender Application Guard](#) (Windows 10)
- [Microsoft Defender SmartScreen](#)
- [Security Baselines](#) (Windows 10 and Windows server only)

Thank you



Microsoft Edgeを展開していただきありがとうございます! Internet Explorerモードの詳細については次のリソースを参照してください:

- [Internet Explorer終了とInternet Explorerモードについてのブログ](#)
- [Internet Explorerモードのウェブサイト](#)
- [Internet ExplorerモードについてのFAQ](#)

エンドユーザーの移行を支援するには次の手順を実行ください:

- Microsoft Edgeの[仕事用の機能紹介サイト](#)
- [メール、チラシ、テンプレートなどのInternet Explorer Retirement Adoption Kit](#)

Internet Explorer終了のタイムラインのスケジュールは以下です:

2021年5月19日
(日本時間:2021年5月20日)

Internet Explorer11 デスクトップ アプリケーションの終了を発表

August 17, 2021
(日本時間:2021年8月18日)

Internet Explorer11でのMicrosoft 365 アプリとサービスのサポートを終了

June 15, 2022
(日本時間:2022年6月16日)

Internet Explorer11デスクトップアプリケーションの提供終了





付録

チャンネルの概要



Microsoft Edgeチャンネルは、Windows、Windows サーバー、macOSの全てのサポートされているバージョンでご利用頂けます。モバイル版はiOSおよびAndroidデバイスで利用可能です。

安定性



実稼働対応のリリース版で、エンタープライズの完全なサポートが可能で、殆どのデバイスに幅広い展開をするのに最適です。

このバージョンは最も安定したブラウザーであり、組織全体に広く展開出来るように一般公開されています。メジャーアップデートは6週間ごとにリリースされ、プレビュービルドから得た全ての内容を含んでいます。

チャンネルのプレビュー

新しいビルドと機能をテストし、マイクロソフトに直接フィードバック頂くことが可能です。



最も安定したプレビュー エクスペリエンスと完全なエンタープライズ サポートを提供します。

各リリースには、Dev(週次)および Canary (日次)ビルドで得られた知見や改善点が盛り込まれており、6週間ごとにメジャーアップデートが行われます。実稼働対応の安定チャンネルに移行する前にこのチャンネルを代表的なユーザーで運用し、お客様の環境でビルドを試験頂くことをお勧めします。



Devビルドは、週単位の改善点を含む最良版であり、新機能の早期評価が可能です。

新機能の確認や計画には Devチャンネルを使用することをお勧めします。これらのビルドは、Microsoft Edgeチームによってテストされており、一般的にCanaryのビルドより先安定しています。

ご希望のチャンネルのダウンロードは [こちら](#) から

Microsoft メカニクス ビデオ シリーズ



Microsoft Edgeの展開、IEモードの設定、ポリシーの構成、およびMicrosoft Edge再生リストを使用してMicrosoft 検索を設定する方法について説明します。

展開



Microsoft Edgeをデバイスに展開する方法の実践的なビデオです。自動インストールのEdgeパッケージオプション、MECM (Microsoft Endpoint Configuration Manager) を使用して Edgeから Windows PC を展開する方法、および電話や Macを含むすべての管理対象デバイスがEdgeでプロビジョニングされるよう設定する手順について説明します。

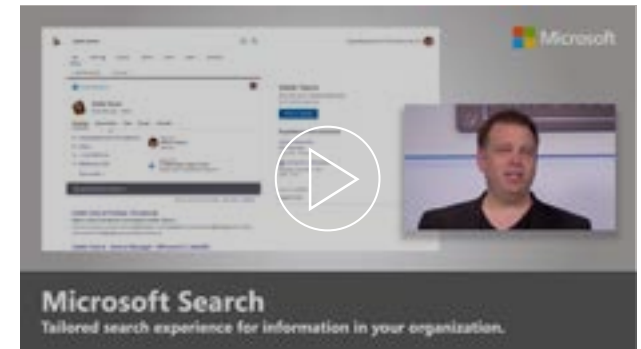
構成



新しいMicrosoft Edge のセキュリティ、互換性、および管理性に関するビデオです。

EdgeはChromiumに基づいており、ビジネスに最適なブラウザとして設計されています。私たちのホスト、ジェミー・チャップマンは他のブラウザとの差別化ポイントを示しています。

Microsoft サーチ



組織内の情報を検索するためのカスタマイズされたエクスペリエンスである Microsoft Search の実践的なビデオです。

ユーザー、ファイル、組織図、サイト、および一般的な質問に対する回答を簡単に見つけることができます。仕事を遂行するために必要な情報をユーザーが見つけるための仕組み、迅速な設定方法、そして高度な機能について参照してください。

3つの動画の[YouTubeプレイリスト](#)をご覧ください。